



平生町は、「高い志と広い視野を持って、夢に挑戦するとともに、学校・家庭・地域の連帯の中で豊かな人間性を育み、ふるさとをこよなく愛して行動できる人づくり」を基本理念として教育活動を行っています。佐賀小の「ありがとう新聞」にあるように、保護者がボランティア活動を紹介する紙面を作成することを通して地域連携教育の理解につながった例など、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進しています。

平生町の推進構想

家庭・地域とのつながりを深め、 「信頼される学校づくり」、「開かれた学校づくり」を推進するために

成果と課題

- 成果**
 - 学校運営協議会の充実(学校ビジョンの共有化と評価を生かした取組の見直し)
 - 中学校区における教職員の交流(合同研修会や出前授業実施)
 - 積極的な情報公開と情報発信(CS便り、情報誌「クロッカス通信」ホームページなど)
 - 学校の取組に対する保護者や地域の協力(学校行事やボランティアとしての参加者の増加)
- 課題**
 - 中学校区における授業や指導の系統性(小中連携と小小連携)
 - 子どもが参加する場の設定(共に考える、子どもの意見を生かした活動など)
 - 保護者・地域住民における学校運営協議会への理解と協力の浸透
 - 学校と行政が連携した家庭教育支援の取組

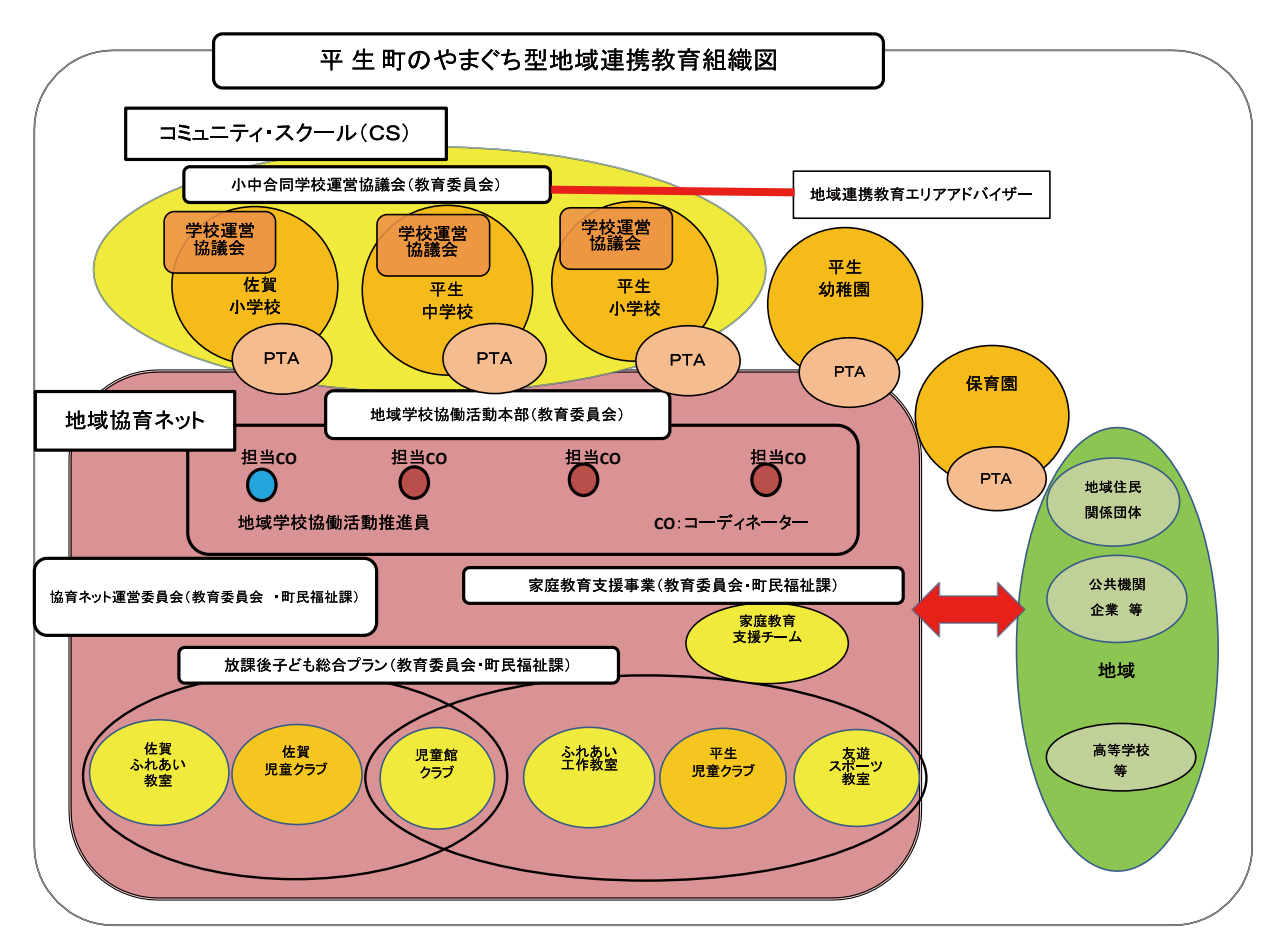
課題解決に向けた重点取組事項とその進捗を測る指標

(1) 「郷土愛を育む教育活動の推進」について中学校区で共通の学校評価項目を設定しその推進を図る。

- <具体的な取組>
- ・地域連携教育について、家庭・地域に周知し、「めざす子どもの姿」の共有化
 - ・家庭や地域の人材を生かした教育活動の計画的な促進
- <指標>
- ・児童生徒、保護者へのアンケート結果より「地域の様子や出来事に関心をもつ」「今住んでいる地域が好き」「地域の人から大切にされていると思う」と答える児童生徒や保護者の肯定的な回答の割合を80%以上にする。

(2) 地域との連携を生かした各校の取組の充実を図り、家庭・地域の理解度の向上を図る。

- <具体的な取組>
- ・子どもが参加する場の設定(共に考える場、子どもの意見を生かした活動など)
 - ・学校支援ボランティア活動への児童生徒の参加(ボランティア活動の必要性を児童生徒に実感させる)
 - ・学校運営協議会やPTA等の会議をはじめ様々な場で情報を発信し、コミュニティ・スクールの取組による成果について児童生徒の具体的な姿で知らせる。
- <指標>
- ・児童生徒が地域の良さを実感できる活動やボランティア活動への参加の増加。
 - ・保護者や地域の方へのアンケートの実施により保護者、学校運営協議会委員等による理解度の増加。
 - ・保護者や地域住民による学校支援者の増加。



活動取組

平生町立平生中学校 (学校運営協議会)



生徒会役員の生徒3名が学校運営協議会に参加し、運動会や文化祭についての説明を行ったり、協議会委員さんとの意見交換を行ったりした。生徒たちは話し合いに積極的で、質問にも堂々と答えることができた。

平生町立平生小学校 (秋季大運動会)



町民憲章第2項「健やかなまちをつくります」の具現化を図るために「平生町オリジナルの踊り『平生ヤッチャレ音頭よさこいバージョン』を広め、元気を発信しよう」と、5年生が運動会で地域の方の参加を募り、一緒に踊った。

おひさまサロン (平生町立佐賀小学校)



5月24日(金)1年生児童が、地域の方が集うサロンを訪れた。自己紹介の後、歌や詩の発表を行い、最後に、地域の方とじゃんけんをしたり、肩をもんだりして、交流を深めた。

平生町内各地区地域交流センター (平生町立平生中学校)



中学生が自分たちの地区の敬老会ボランティア活動に参加した。50名以上の中学生が参加し、受付や会場でのお手伝いなど一生懸命に活動し、地域のお年寄りとの関わりを深めた。